

平成31年第1回竜王町議会定例会（第5号）

平成31年3月25日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程（第5日）

- 日程第 1 議第19号 平成31年度竜王町一般会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第20号 平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第21号 平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第22号 平成31年度竜王町学校給食事業特別会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第23号 平成31年度竜王町介護保険特別会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 議第24号 平成31年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 7 議第25号 平成31年度竜王町水道事業会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 8 議第26号 平成31年度竜王町下水道事業会計予算
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 9 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第10 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第11 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第12 議員派遣について
- 日程第13 委員会の閉会中の継続調査の申出について

3 会議に出席した議員（11名）

2番	小西久次	3番	若井猛志
4番	森島芳男	5番	森山敏夫
6番	内山英作	7番	松浦博
8番	古株克彦	9番	貴多正幸
10番	山田義明	11番	岡山富男
12番	小森重剛		

4 会議に欠席した議員（1名）

1番 菱田三男

5 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町	長	西田 秀治	教育委員会教育長	甲津 和寿
副町	長	杼木 栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監兼 発達支援課長		嶋林さちこ	産業建設主監	井口 和人
主監兼 未来創造課長		奥 浩市	会計管理者	西川 良浩
総務課長		川嶋 正明	税務課長	寺嶋 要
生活安全課長		関司 明德	住民課長	森岡 道友
福祉課長		間宮 泰樹	健康推進課長	中原 江理
農業振興課長		井口 清幸	商工観光課長	岩田 宏之
建設計画課長		森 徳男	上下水道課長	込山 佳寛
農業委員会事務局長		白川 賢治	教育次長兼 生涯学習課長	田邊 正俊
教育総務課長	心得	町田 啓司	学校教育課長	武久 雅則

6 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿 雅仁	書	記 奥 智子
--------	-------	---	--------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、11人であります。よって、定足数に達しておりますので、これより、平成31年第1回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

- 日程第 1 議第 19号 平成31年度竜王町一般会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第 20号 平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第 21号 平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第 22号 平成31年度竜王町学校給食事業特別会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第 23号 平成31年度竜王町介護保険特別会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 議第 24号 平成31年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 7 議第 25号 平成31年度竜王町水道事業会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 8 議第 26号 平成31年度竜王町下水道事業会計予算  
(予算決算常任委員会委員長報告)

○議長（小森重剛） 日程第1 議第19号、平成31年度竜王町一般会計予算から日程第8 議第26号、平成31年度竜王町下水道事業会計予算までを一括議題といたします。

本案は、予算決算常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、松浦 博議員。

○予算決算常任委員会委員長（松浦 博） 議第19号から議第26号、予算決算常任委員会報告。

平成31年3月25日

委員長 松浦 博

去る3月5日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第19号から議第26号までの、平成31年度竜王町一般会計予算、並びに平成31年度竜王町特別会計予算5会計、水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の合計8議案について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、3月12日から14日までの3日間、301会議室において委員全員出席のもと、西田町長、桴木副町長、甲津教育長及び関係主監・次長、関係職員の出席を求め、説明を受け、審査いたしました。

議第19号、平成31年度竜王町一般会計予算。

平成31年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ64億2,400万円で、前年度に比べ9億100万円、率にして16.3%の増となっています。

平成31年度の予算は、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町」をつくる施策をさらに加速させ、あわせて、将来を見据えた健全な財政運営を行うため、財源不足の縮減を図りながらも、「将来のまちづくりに向けた計画的かつ効果的な投資及び課題解決のための施策への集中」を積極的に行うため、過去最高の予算規模となっています。

歳入の主なものは、町税で37億6,372万円を見込み、前年度比6億7,733万円、21.9%の増となっており、特に、法人町民税については6億1,622万円の増と見込んでいます。また、地方交付税のうち、普通交付税については、法人町民税の増収から今年度に引き続き不交付になる見込みです。

なお、町税の増収が見込めることから、財政調整基金からの繰り入れを行わない予算編成となっています。

次に、歳出の主なものは、「新しい時代の活力・安心のまち実現予算」として、8つの施策に予算を重点配分しています。コンパクトシティ化推進事業に730万円、防災行政情報システム整備事業に4億420万円、道の駅アグリパーク竜王のモデル化推進事業に5,300万円、総合運動公園設備等改修事業に4,000万円、緊急輸送道路上にある橋梁の耐震化事業に5,010万円等を実施していくため、前年度と比べ9億100万円増加した予算となりました。

また、将来を見据えた健全な財政運営を行うため、町債の一部（1億4,86

1万円)を繰り上げて償還することにより、財政指標の改善を図ります。

委員会での主な質疑応答は次のとおりです。

総務課。

問) 予算規模が過去最大となったが、事業に取り組む職員体制はどのようになるのか。

答) それぞれの課の現状、新年度に向けた事業規模を聞き取り、人事ヒアリングを実施しています。人事評価やそれぞれの課の問題点等を精査し、新事業に対応できるように職員の体制を検討します。

未来創造課。

問) RPA ( R o b o t i c P r o c e s s A u t o m a t i o n ) の導入による効果は。

答) より正確な事務処理に向け、最終的には職員による確認作業が必要ですが、入力ミスというような単純な事務作業によるミスは減少します。

また、作業時間の短縮により、確認を行うための時間の確保ができると見込んでいます。

問) 公共施設等総合管理計画は、具体的にどのように進めようとしているのか。

答) 具体的に予算計上して除却する建物は、公民館別館(青年団団室)です。今後は、岡屋南部地区防災センター、旧老人憩いの家が対象になります。その他の建物は、施設の状況を把握し、長寿命化措置等が図れるよう、計画の中に位置づけたいと考えています。

問) コンパクトシティ化推進事業に住民説明会は、どのように開催されるのか。

また、中心核整備計画策定業務の構想は、いつごろ取りまとめるのか。

答) 住民への説明会は、4ブロックに分けて開催する予定です。

時期は、4月下旬ごろから7月にかけて開催したいと考えています。特に構想の中心核である小口、綾戸自治会には、別に訪問したいと考えています。

構想の取りまとめは、4ブロックの意見を参考に、上半期中には最終の取りまとめをしたいと考えています。

中心核整備計画は、配置案を盛り込み、年内に仕上げたいと考えています。それを受けて、個別の施設の基本計画に取り組みたいと考えています。

問) ラジオ告知番組制作及び放送業務委託料で、これまでと同様の委託を行うのか。

答) 現在、本業務については、ラジオスイート(びわ湖キャプテン(株))に

委託しており、「広報りゅうおう」を基に1日2回の放送をしています。町内の一部地域で電波が届かないことは承知していますので、ラジオスイートに改善の申し出をしています。

ラジオスイートとは、防災訓練の中で災害を想定した訓練をしており、来年度はさらにブースを設けてもらい、積極的に災害時の対応を考えていただいています。

生活安全課。

問) 消防費で、防火服の購入費が計上されている。消防団員に初期消火を行わせるのか。危険が伴わないのか。

答) 消防団は地理と水利などの情報に詳しく、消防署からは、情報提供や初期消火の面で期待されています。

防火服の購入については、消防署の後方支援で放水のため筒先を持たなければならないことも想定し、消防車に準備しておくもので、危険な活動をお願いするものではありません。

問) 中部清掃組合の、ごみ処理場の場所の検討はどのような状況か。

答) 次期中部清掃組合の施設の更新は、既存の施設が約10年を迎え、次の10年後を見据えて用地選定委員会が設置されています。委員会には、各構成市町の副町長や県の環境事務所等が入って検討しています。今後、最終候補地を3カ所に絞って、管理者に検討結果を報告する予定をしています。

税務課。

問) 法人町民税全体の中で、大手企業の占める割合はどれくらいか。

答) 平成30年度決算見込みから考えると、法人町民税の約72%を占めています。

住民課。

問) マイナンバーカードの交付状況は。

答) 今年の3月7日現在、1,024名で、交付率は8.5%です。8月からマイナンバーカードに使用する写真の無料撮影や申請手続の補助をしたことで増加したのかと考えています。

福祉課

問) 地域福祉コーディネーターは、国の新規事業である地域力強化推進事業として、補助を受けて配置されているが、補助がなくなった場合でも引き続き配置するのか。

答) コーディネーターは、住民が主体的に課題を解決するという事を事業の目標として掲げられています。

現在、地域に入り、どのような課題があるのか把握し、その課題を住民みずからが解決するという体制づくりを中心に活動をしてもらっています。

今後も、このコーディネーターの配置は、必要であると考えています。

発達支援課。

問) 臨時職員が現在1名不足している中で、新規事業も含めて安全に十分な業務ができるのか。

答) 現在、欠員が生じておりますが、課内において業務担当を調整しつつ、適切な執行に努めています。

欠員の補充については、平成31年度採用の臨時職員についても募集を行っているところです。

また、次年度においては、教育委員会から幼稚園教諭の派遣が予定されており、今年度よりも増員する見込みです。

健康推進課。

問) りゅうおう健康活動推進事業委託料は、健康推進協議会を通じて健康推進員がいる地区に活動助成をされているが、推進員がいない自治会への支援はどのようにされるのか。

答) 健康推進員がいない地区については、地区担当保健師がおり、その地区でリーダーとなっている方々と組んで実施したり、リーダーがいない地区には、地区担当保健師が中心となって進めています。

農業振興課・農業委員会。

問) 道の駅アグリパーク竜王モデル化推進事業に係る指定管理料について、事業が拡大し、業務量の増加が予測されるが、指定管理料でこの事業が実施できるのか。金額を変更する場合は、議会の承認がいるのか。

答) 指定管理についての議決は、指定管理者と期間と限度額を定めていますので、現在の定めている範囲内で工夫していきます。指定管理料の限度額を超える状況になれば、改めて議会の議決を求めることになります。

問) 農業振興のあり方検討に係る懇談会では、どのような議論をされているのか。

答) 3点あり、1、担い手の育成及び経営基盤の安定化に関する事。2、産地の育成強化及び農業を切り口とした、協働による竜王農業の活性化に関する事。

と。3、土地改良施設等の維持保全に関する事で議論をいただきます。

問) 竜王産品の真のブランド化は、できているのか。

答) 真のブランド化に向けてさまざまな団体で取り組みを継続していますが、最終目標までは到達できていません。行政として引き続き支援していきます。

商工観光課。

問) ふるさと納税推進強化業務委託料について、直営の市町もあるが、直営は考えられないのか。

答) 国の動向も見ながら、当初JTBへの委託からはじまり、さとふる、さらには楽天という大きなマーケットへ拡大することになっています。それを限られたマンパワーで直営することは難しいため、一旦、委託を中心に考えています。

建設計画課。

問) 町道殿山線の拡幅について、用地購入の平方メートル単価と購入面積は。

答) 今年度用地買収し、平方メートル単価は6,400円で、用地取得面積は305平方メートルです。

問) ドラゴンハットの屋根は、長寿命化計画に入っているのか。

答) 策定した長寿命化計画の中には、屋根も含まれており、予定として、この5年間で内容検討を考えています。

問) 現場技術業務はどのような業務か。また、今後の進め方は。

答) 土木工事等の設計補助、現場管理補助を行っていただくもので、町全体として、事業がスムーズに進行できるように対応していきます。

今後は、技術職員の確保が厳しい中、事業量を勘案しながら、民間活用についても検討していきます。

教育総務課。

問) 幼稚園の臨時職員は、当初予算の中で何名分計上され、何名の確保ができているのか。

答) 幼稚園は21名分で、21名の確保に向けて募集していますが、現在、5名確保できていません。

幼稚園教諭の資格を持った方の募集をしていますが、どうしても見つからない場合には、幼稚園教諭の資格がなくても、特別な支援を要する子への対応ができる方の確保に向けて募集をしていきます。

生涯学習課・公民館・図書館。

問) スポーツライミングについて、取り組みと地域おこし協力隊との連携は。



また、スポーツライミング施設は、どのような施設を整備するのか。

答) ボルダリング選手育成のための人材が重要となってきます。その1つの方策として、地域おこし協力隊の活用ができるよう、新年度での募集を考えています。施設は、選手養成を目標としていることもあり、都道府県レベルの大会が開催できるような施設にできればと考えています。

議第20号、平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ17億6,580万円で、前年度比較2億8,110万円の減額、率にして13.7%の減となっています。

歳入の主なものは、県支出金が13億9,921万8,000円、国民健康保険税が2億7,201万6,000円です。

歳出の主なものは、保険給付費が13億9,407万円です。

主な質疑応答は。

問) 国民健康保険税について、基金から1,700万円を繰り入れて激変緩和への対応ということであるが、昨年と個人負担は変わらないのか。

答) 平成30年度実績の調定額と県から示された平成31年度の必要な保険料総額との差額を繰り入れ、激変緩和の措置を行います。ただし、平成31年度は個人所得の変化もあり、国保資格を有する人の数も変わるため、課税後でないと不明です。

議第21号、平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ医科1,260万円で、前年度比較490万円の増額、率にして63.6%の増、歯科は5,220万円で、前年度比較230万円の減額、率にして4.2%の減となっています。

医科では、歳出の主なものは、総務費が1,192万7,000円で、そのうち、委託料として医科診療所指定管理料が650万円です。

歯科では、歳入の主なものは診療収入が4,365万円、歳出の主なものは総務費が3,709万9,000円、医業費が1,020万2,000円です。

主な質疑応答は。

問) 新たな国民健康保険診療所(医科)の整備に向けた取り組みの進捗は。

答) 山之上連合区長や4自治会長に説明し、一定の選定もいただき、地権者も含め協議しており、地権者の内諾はもらっています。実施計画は6月の議会に、用地取得費は8月の議会に上程したいと考えています。正式な場所については、6月議会に報告できると思います。

問) 後期高齢者医療特別会計繰入金を新たな項目としたが、この財源は国からの交付金か。また、保険者努力支援金とは、どのようなものか。

答) 今年度と同様の国からの交付金で、滋賀県後期高齢者広域連合を通じて入ってきています。

保険者努力支援金は、高齢者の戸別訪問事業の実施に対する評価により交付されているものです。

議第22号、平成31年度竜王町学校給食事業特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,900万円で、前年度比較40万円の減額で、率にして0.7%の減となっています。

歳入の主なものは、給食費負担金が5,889万6,000円です。また、歳出は給食事業費5,900万円で、うち給食に係る資材費が5,851万円です。

質疑は特にありませんでした。

議第23号、平成31年度竜王町介護保険特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ9億9,330万円で、前年度比較7,780万円の増額、率にして8.5%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料が2億3,817万9,000円、国庫支出金が2億841万4,000円、支払基金交付金が2億5,674万3,000円、繰入金が1億4,794万9,000円です。

歳出の主なものは、保険給付費の居宅介護サービス給付費が3億800万円、施設介護サービス給付費が3億2,400万円、地域密着型介護サービス給付費が1億9,600万円です。

主な質疑応答は。

問) 生活支援体制整備事業で、どのような取り組みをするのか。

答) 現在、地域では、支え合いマップづくりをしています。西川地区では先行して完成され、さらに発展して、防災対策まで話し合うところまで展開しています。来年度も引き続き支え合いマップづくりを支援し、生活支援コーディネーターとして地域に入ります。あわせて、今年度は、買い物支援について民間事業者とグループワークも行い、来年度も引き続き生活支援体制の充実に向けた協議を民間事業者とも協力をいただき、進めていきます。

議第24号、平成31年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億620万円で、前年度比較100万円の増額、率にして1.0%の増となっています。

歳入の主なものは、後期高齢者保険料が8,001万8,000円、一般会計繰入金が2,416万5,000円です。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が1億274万6,000円です。

質疑は特にありませんでした。

議第25号、平成31年度竜王町水道事業会計予算。

第2条関係の業務の予定量は、給水戸数が3,900戸で、年間総配水量は164万1,000立方メートル、一日平均給水量は4,100立方メートルです。

主な建設改良事業として、管路更新事業で1億3,067万円を見込んでいます。

第3条予算は、収益的収入の予定額が3億6,163万1,000円で、前年度比較297万7,000円の減額、率にして0.8%の減です。収益的支出の予定額は3億6,135万7,000円で、前年度比較87万1,000円の減額、率にして0.2%の減です。

歳入の主なものは、営業収益が3億20万5,000円で前年度より増額、営業外収益が6,141万6,000円で前年度より減額となっています。

支出の主なものは、営業費用が3億4,346万9,000円で前年度より減額、営業外費用が1,768万8,000円で前年度より増額となっています。

第4条予算は、資本的収入の予定額が8,760万円で、前年度比較2,261万8,000円の減額、率にして20.5%の減です。

資本的支出の予定額は1億6,247万8,000円で、前年度比較1,962万2,000円の減額、率にして10.8%の減です。

主な質疑応答は。

問) 石綿管の布設がえが必要なところはどれだけあるのか。

答) 石綿管で交代の危険性が高い箇所は、西横関に布設している口径150ミリメートル管です。その他、町内で残っているのは、約1キロメートルです。

議第26号、平成31年度竜王町下水道事業会計予算。

第2条関係の業務の予定量は、接続戸数が3,400戸で、年間総処理水量は144万4,000立方メートル、一日平均処理水量は4,000立方メートルです。

主な建設改良事業として、下水道整備事業で2,456万5,000円を見込んでいます。

第3条予算は、収益的収入の予定額が5億2,066万3,000円で、前年度比較6,317万3,000円の減額、率にして10.8%の減です。収益的支出の予定額は5億1,050万4,000円で、前年度比較2,088万1,000円の減額、率にして3.9%の減です。

収入の主なものは、営業収益が1億8,391万1,000円、営業外収益が3億3,675万円で、いずれも前年度より減額となっています。

支出の主なものは、営業費用が4億2,939万3,000円、営業外費用が8,061万1,000円で、いずれも前年度より減額となっています。

第4条予算は、資本的収入の予定額が2億6,851万1,000円で、資本的支出の予定額は4億2,423万6,000円となっています。

主な質疑応答は。

問) 下水道管の総延長はどのくらいか。また、老朽化した管路の点検はどのようにされているのか。

答) 総延長については、公共下水道が99キロメートル、農業集落排水が8キロメートルの合計107キロメートルです。また、公共下水道の管路は平成3年から供用開始され、老朽管は今後更新時期を迎えますので、ストックマネジメント基本計画により、今ある管路等の更新に向けて計画づけをします。

問) 農業集落排水の整備を早期に実施できないのか。

答) 下水道計画で位置づけをしているものの、農業集落排水を公共下水道につなぐためには、事業認可の手続や国・県との調整に時間を要します。

以上、慎重審査の結果、議第19号から議第26号までの8議案は、全員賛成で可決すべきものと決しましたので、ここに報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、予算決算常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。採決は1議案ごとに行います。  
お諮りいたします。

日程第1 議第19号、平成31年度竜王町一般会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第19号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第2 議第20号、平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第2 議第20号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第3 議第21号、平成31年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第3 議第21号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第4 議第22号、平成31年度竜王町学校給食事業特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第4 議第22号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第5 議第23号、平成31年度竜王町介護保険特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第5 議第23号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第6 議第24号、平成31年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第6 議第24号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第7 議第25号、平成31年度竜王町水道事業会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第7 議第25号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第8 議第26号、平成31年度竜王町下水道事業会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第8 議第26号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第9 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告。

平成31年3月25日

委員長 内山 英作

本委員会は、平成30年第4回定例会閉会後の12月27日、平成31年1月9日、16日、21日に委員会を開催、議会だより186号の編集作業をし、2月1日に発行しました。

主な記事の内容は、平成30年度一般会計補正予算、平成31年度から5年間の指定管理者の指定、委員会活動、一般質問、追跡コーナー、八日市布引ライフ組合（布引斎苑）に関する情報、いきいき人生などです。

次に、本委員会は、本定例会中の3月5日、午前11時25分から委員全員出席のもと委員会を開催し、前回の編集作業を評価し、課題を確認しました。

また、これまでの研修での学びやクリニックでの講評、編集作業の中での工夫を踏まえ、「議会広報編集マニュアル」の見直しを行い、一部を改訂しました。その後、次回発行する議会だより187号の編集内容について協議し、ページ数の決定、原稿作成の役割分担及び編集日程を決定しました。

なお、編集のための委員会は、定例会閉会後の4月1日、8日、12日、17日の4日間開催し、5月1日に発行することに決定しました。

次に、本委員会は、3月28日に彦根市で開催される町議会広報研修会に参加し、議会広報編集技術の向上を図ることとしました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質疑がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第10 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第10 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、貴多正幸議員。

○地域活性化特別委員会委員長（貴多正幸） 地域活性化特別委員会報告。

平成31年3月25日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、3月7日午前9時より委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、井口産業建設主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行いました。

(1) 空き家対策について。

空き家対策の一つの手段として、家賃も含めた「住まい」を切り口にして、転出防止・転入促進を目指し、新年度から実施される「竜王町若者定住のための住まい助成制度」について、また、「竜王町若者定住のための住まい補助金交付要綱（案）」の説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 新たに補助対象となる家賃補助について、対象のアパート等は、どこが想定されるのか。

答) 現在、松が丘地先、山之上地先にアパートがあります。家賃補助は、12カ月以上の賃貸契約をした、月額4万5,000円以上のアパート等の家賃を補助の対象としているため、松が丘地先のアパートは対象になりますが、山之上地先のアパートは家賃が3万円程度であり、補助対象とはなりません。今後、この要件を満たすアパートが建設された場合は、対象となります。

問) 持ち主がわかっている空き家について、放置しておくで老朽化が進み、ま

た、獣害などの被害も予想されるが、どのように対応していくのか。

答) 家屋を所有されている全ての方に、空き家の適正管理のためのパンフレットを作成し、配布を考えています。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

○議長(小森重剛) ただいまの、地域活性化特別委員会委員長報告に対して質疑がありましたら、発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第11 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第11 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より、報告を求めます。

議会運営委員会委員長、小西久次議員。

○議会運営委員会委員長(小西久次) 議会運営委員会報告。

平成31年3月25日

委員長 小西 久次

本委員会は、1月22日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成31年第1回定例会の日程について協議しました。

次に、本委員会は、2月22日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成31年第1回定例会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例11件、補正予算7件、新年度予算8件、その他1件の計27件です。

その後、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を2月27日から3月25日までの27日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

また、竜王町議会傍聴規則の一部を改正する規則について審議し、全員協議会

での周知の後、直ちに公布することに決定しました。

次に、「奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書」、「全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書」、「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議について」の陳情等の取り扱いについて協議し、議員全員に依頼文の写しを配付し、周知を図ることに決定しました。

次に、本委員会は、3月1日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成31年第1回定例会第4日の一般質問について、12議員から提出された18質問（取り下げにより17問）について、会議の再開時間及び質問の順序等を審査決定しました。

第4日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順とすることに決定しました。

以上、議会運営委員会報告とします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成31年3月25日

委員長 古株 克彦

本委員会は、3月6日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと、西田町長、井口産業建設主監及び関係課長・職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

1、ため池ハザードマップ策定状況について。

近年、全国各地で豪雨や大規模な地震の発生により、ため池による被害が発生している。このため、国は、減災対策の観点から、各市町をため池ハザードマップ作成の整備主体とし、マップの整備を推進している。

本町においても、当該マップの作成を平成30年度から平成31年度にかけて実施する計画で、その作成状況について説明を受けた。

①、策定の計画。

町内の農業ため池は47カ所あり、ハザードマップ作成の対象となるため池は20カ所で、うち10カ所について、平成30年度にマップを作成する。

平成31年度は、残る10カ所のハザードマップを作成する計画である。

②、今後の動き。

今年度計画している10カ所については、年度末までに業務を完了して、関係自治会への内容の報告を行い、4月には町のホームページにて情報公開する予定である。

主な質疑応答。

問) ため池ハザードマップと従来の土砂災害ハザードマップとで重複する場所は、どのように関係づけるのか。

答) 今回作成するため池ハザードマップは、複合的、総合的な要素を含めたものではありませんが、土砂災害警戒区域等については明記していきます。

2、道の駅「竜王かがみの里」拡充について。

県内の観光客は、年間、平成24年の4,419万人から平成29年には5,248万人と増加傾向にあり、隣接市には、県下で上位の集客数を誇る観光施設がある。

この観光客を重点道の駅「竜王かがみの里」へと誘導し、さらなる地域の活性化を図るため、機能拡充を行う。機能拡充は、駐車場の拡張、農産施設の整備、町道の新設、防災拠点化等を予定している。

①、最近の経過。

平成30年3月から、機能拡充に必要となる隣接地の用地協力を得るため、隣接事業者と協議を行ってきた。

国土交通省が整備する駐車場用地については、平成31年度より事業着手の見通しとなる。

②、今後の動き。

事業者から、土地の購入に向けての基本事項を年度内に覚書等で双方確認し、平成31年度以降に段階的に土地の購入を進める。

取得する予定の土地は、総面積約3万7,900平方メートルである。

引き渡し方法については、既存建築物は売主にて撤去され、更地の状態で引き渡しを受ける。

購入方法は、平成31年度から分割購入する予定です。

主な質疑応答。

問) 一括契約をするということであるが、最終の支払い時において、契約後に土地の価格が変動した場合、どのようにするのか。

答) 契約後の土地評価額の変動に影響を受けることなく、契約時の価格で支払います。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長(小森重剛) 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長(山田義明) 教育民生常任委員会 所管事務調査報告。

平成31年3月25日

委員長 山田 義明

本委員会は、3月6日午後1時より第1委員会室で委員全員出席のもと、執行部より甲津教育長、田邊教育次長、武久学校教育課長、町田教育総務課長心得、ほか担当職員の出席を求め、所管事務調査を実施しました。

学ぶ力の向上策と学校現場における業務改善についてということで、1、教師力・学校力アップ事業の取り組みは。

学校園自主公開アピール事業では、竜王中学校で主体的・対話的で深い学びから広がる学びを目指して、全教科において13名の教員が授業を公開するとともに、滋賀大学大学院の畑准教授の講演会を開催し、また、竜王西小学校では、主体的に学び合う子どもを育てる授業の創造をテーマに、3教科において授業を公開し、滋賀県立大学の木村准教授の指導のもと研修を深めました。

教育研究奨励事業では、教科指導・生徒指導・学年・学級経営等に関する研究等、専門的な職務・分野に関する研究等に、今年度は管理職・ベテラン教師が7名と新人部門に2名が取り組まれ、実践報告をされました。

若手教員授業力アップ事業では、教職2年次の小学校若手教員の研修として、指導経験豊かな教員OBが月1回授業を参観し、その後の指導及び助言が行われました。

若手教職員研修、町費の嘱託講師研修では、町教育委員会が推薦する学校、または教職員の指導のもと、授業指導方法や生徒指導、学級経営等にかかる研修が行われた。

その他、学校園組織の中核となる教員が、保育・授業力向上に向けた先進地視察研修を行ったり、すぐれた教育実践及び顕著な成果を上げた教職員を表彰したりすることで、教職員のモチベーションの向上をはじめ、教師力、学校力のアッ

プに努めた。

2、徹底反復学習「竜王チャレンジタイム」の取り組みについては、陰山英男先生が推奨された学習方法（陰山メソッド）を取り入れ、両小学校で取り組みを始めた。単に知識や技能を獲得するためのものだけでなく、授業を始める前の学習準備運動として、徹底反復学習による集中力の向上や脳の活性化を狙うとともに、この取り組みによって子どもたちの自己肯定感や学びに向かう意欲を高めている。

徹底反復学習は5分単位で実施されており、音読では集中力を高め、100ます計算では処理速度の向上、漢字の先取り練習では読解力の向上を図っている。

児童からは、「早く計算ができてうれしい」、「漢字が覚えられなかったけれど覚えられるようになった」などの声があり、これらの実感が自信や実力につながっています。

3、学校現場における業務改善の取り組みについて。

教職員の本務である授業研究や生徒指導に取り組む時間や子どもたちと向き合う時間を確保することによって、教育の質を高めることを目的とし、平成29年度から、教職員の超過勤務の縮減を図るため、学校現場における業務改善の取り組みを推進している。

イ、学校支援マネジャーの配置では、経験の多い学校支援マネジャーや教職員サポートスタッフからのアドバイスは、学校経営のマネジメントから課題のある児童生徒への対応支援等まで、経験が少ない先生へのサポートとして心強いものである。

ロ、支援スタッフの配置では、スクール・サポート・スタッフは、昨年度から3校に1名ずつの配置となった。また、監督や審判ができる部活動指導員は、中学校の4つの部活動で活用されている。その他、教職員サポートスタッフや加配事務職員は、各校のニーズ・目標に合わせて配置されている。

以上の対策から、児童生徒と向き合う時間の確保、時間外勤務の削減が進みつつあり、職場内で協力し合えるようになり、精神的にゆとりが持てるようになってきたとのこと。

4、竜王中学校のキャリア教育の取り組み。

自分の将来の夢や目標を持ち、主体的に進路設計や進路決定について考え、実践する生徒の育成をめざして系統的なキャリア教育を推進する。

イ、系統的なキャリア教育として、1年生は地域の文化・歴史・産業の調査、

2年生は5日間の勤労体験学習、3年生は修学旅行での「竜王町」の発信と福祉学習からまちづくりや生き方を考え、地域学習を中心としたキャリア教育を展開している。

ロ、本物体験として、就職活動のための面接試験やマナー講座、アポ電話体験、本番の勤労体験学習をしている。その他、本物との出会いを大切に、著名人（プロ）の特別授業や中学生海外派遣研修事業などの取り組みを行っている。

主な質疑応答としまして、問) 徹底反復学習では、学習状況に差が出てくると思うが、答えがおくれた子どもへの対応は。また、100ます計算で間違った場合はどうするのか。

答) 音読であれば、起立して前に貼っている紙を読むようにしています。覚えている子は、横を向いたり、後ろを向いたりして暗唱しています。100ます計算については、ほかの子との比較はしません。順位をつけるものではなく、個人の成長の実感を大切にしています。また、100ます計算は、原則、答え合わせはしません。

問) 徹底反復学習について、結果が出ないといけないと思うが考えは。

答) 来年度も学力学習状況調査があり、どのような成果があるのか、検証したいと考えています。教育委員会としても、それぞれの取り組みに対して、定期的に子どもたちの成長を検証できるシステムを構築できるよう考えています。

問) 徹底反復学習で、子どもたちの生活態度の変化等、影響は出ているのか。

答) 竜王小学校では、校長先生が毎朝、校門で子どもたちに挨拶されています。取り組みを始める前までは、挨拶の声が先生に届いてきませんでした。取り組み始めてからは、非常に大きな声で挨拶するようになりました。

また、特別支援教育の分野では、朝、学校に行きにくかった子が、100ます計算のタイムが少しずつ早くなるのが楽しいということで、学校に来られるようになりました。

問) 指導力のある先生の教え方が、ほかの先生に生かせるような取り組みをされているのか。

答) 指導力には、違いがあります。研修会を何度も開催することは困難であるため、いかにコンパクトな時間で効率的な教職員の学び合いの場をつくるかということがテーマになっています。

中学校では、「ちょこっと授業研」を実施し、短い時間で研修を積み重ねて、大きな効果につなげようとしています。

問) 勤労体験学習では、町内企業は面接もしていると聞いている。生徒からの感想文は出されていると思うが、企業からのレポートはあるのか。

答) 子どもたちの研修日誌に、企業からのコメントを書く欄を設けており、毎日体験終了後にコメントをいただいています。

以上、教育民生常任委員会の所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して、委員長報告に対しての質疑がありましたら、発言願います。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 1 2 議員派遣について

**○議長（小森重剛）** 日程第 1 2 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第 1 2 6 条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思えます。

なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思えますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 1 3 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第 1 3 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から会議規則第 7 5 条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

んか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございましたので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 平成31年第1回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、去る2月27日から本日までの27日間にわたりまして慎重なる御審議を賜り、提案させていただきました議案に対しまして、全ての議案を可決いただきましたことに、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

また、各委員会の場合や一般質問におきまして、議員各位からコンパクトシティ化構想、人口減少対策、移動手段の確保、竜王ブランドの確立、日野川改修、減災への取り組み、自殺対策などに関しまして、多岐にわたりいただきました御意見、御指摘につきましては、その対応に十分留意して今後の町政運営に当たってまいり所存でございますので、今後とも格段の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、週が変われば、新たな年度がスタートいたします。

平成31年度の最優先課題は、コンパクトシティ化の推進でございます。人口減少・少子高齢化が進む中、将来にわたり地域の活力を維持し、生活機能を確保するための構想を完成してまいります。

そのために、新年度に入りましてから、町民皆様と思いや情報を共有するため、適切な時期を見定め、御意見等をお伺いする場を設けさせていただきたいと考えております。

さて、本日、お認めいただきました平成31年度当初予算に基づきまして、今年度の取り組み、活動を加速させ、「活力」と「安心」をキーワードに「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」の実現に向けて鋭意取り組んでまいります。

結びに当たりまして、これからの季節、少しずつ暖かくなってまいります、朝夕はまだまだ寒さが残るところでございます。くれぐれも健康には御留意いた

だき、町政進展のため、引き続き御活躍いただきますよう御祈念申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（小森重剛） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る2月27日に招集され、本日までの27日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、連日にわたりまして御出席を賜り、会期中、平成31年度一般会計・特別会計予算や条例改正など数多くの重要な案件について慎重に御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、適切なる対応をしていただき、議事運営に御協力を賜り、まことにありがとうございました。議員各位、並びに執行部各位の御協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

新元号もいよいよ1週間後に発表され、同時に新年度予算もスタートを切るわけであります。執行部におかれましては、今定例会で各議員が述べられました意見や要望を十分尊重され、新年度の町政執行に反映されるとともに、早急に目に見える具体的な取り組みを実行されますことをお願い申し上げます。

さて、今年は、住民が安心安全に暮らせることを願いに、その願いをかなえてくれる大切な1票を投じる国・県・町の議員選挙年であります。竜王町の投票率がアップするよう、みんなで投票に行きましょう。

また、町内では、4月から、各地域で穀物の豊作を祈願する祭礼行事の催しにぎにぎしく始まり、田植えの準備や植えつけに忙しくなります。また、サクラの満開の中、当町の将来を担う子どもたちの晴れ舞台であります保育園、幼稚園、小学校、中学校では、入園、入学式が挙行されます。5月以降も自治会や各種団体、企業等で総会等、さまざまな事業運営がスタートします。

竜王町始まって以来の大型予算ではあるものの、まだまだ財政厳しい中、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱として、10年後を見据えたコンパクトシティ化構想をはじめ、中心核整備等、8つの重点施策に予算を重点配分されています。

しかしながら、これを真に進めるためには、限られた職員数で今まで以上の仕事をこなし、成果を上げるには、相当なマンパワーや努力と覚悟が必要となります。

その覚悟の先頭に立つのが、西田町長、桴木副町長、甲津教育長であります。どうか三役が先頭となり、執行部一丸となって、住民を巻き込み、実現できます

よう最大限の御尽力を願うものです。

竜王町議会におきましても、各委員会で調査研究を続け、重点施策プロジェクトが一つでも実を結び、住民にわかり、キラリときらめく町、キラリと光る教育となるよう見守っていくところでございます。

平成30年度も余すところ1週間となつてまいりました。議員各位、並びに執行部各位におかれましては、新しい年度に向けくれぐれも御自愛いただき、町政の振興発展のため、なお一層の御尽力をいただきますようお願いを申し上げ、閉会に当たつての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成31年第1回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後2時24分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 古 株 克 彦

議会議員 貴 多 正 幸